

# 11 がっひかりごう

令和6年11月1日 輝保育園

昼夜の寒暖差も徐々に大きくなり、秋を感じるようになりました。運動会を経験した子どもたちは、友達関係にも広がりや深まりが出てきます。トラブルや葛藤を経験しながら、共に活動する楽しさや満足感が味わえるように関わっていきます。また、木の葉の色づきや木の実拾いなど、秋の自然を楽しむ時期です。自然物を使った製作、葉の色や形比べなど、この時期ならではの遊びを取り入れていきます。

## ((( 遠足 )))

12月3日(火)に遠足を予定しています。  
おかず入りの、お弁当をお願いします。  
日常とは異なる行動と環境を経験ことにより、更なる自立心の向上を期待しています。



## ★ いい歯の日 ★

11月8日は「いい歯の日」です。  
80才になっても自分の健康な歯を20本以上保つことを目標にしています。  
朝、夕の歯磨きを習慣にしましょう。



## = 11月の行事予定 =

- 1日(火) 幼年消防クラブ (ひまわり組のみ)
- 7日(木) 避難訓練
- 19日(火) 尿検査
- 20日(水) 尿検査
- 21日(木) 避難訓練(地震対応)
- 22日(金) 誕生会・身体測定

## 《《《 お願い 》》》

1. クリアケースの中と、お便り帳を毎日確認してください。
2. お金などの貴重品は、必ず職員に手渡しをお願いします。
3. 持ち物や衣類には名前の記入をお願いします。名前が薄くなっていないか、もう一度確認して下さい。
4. 夜更かしをさせず、早寝・早起をし、しっかり朝食を摂りましょう。
5. 毎日入浴させ、清潔にしましょう。

## ☆☆ 家庭の取り組み ☆☆

～ 手本となる大人の姿 ～

- ① 「これくらい」、「みんなもやっているから」に流されない

良くないことだとはわかっていても、「周りが(みんなも)やっているのだから、これくらいなら…」ということはありません。

例えば、横断歩道以外での道路横断、タバコ・ごみのポイ捨てなどです。

大人の、周りに流されない姿勢が、子どもの規範意識形成の重要な要因の一つです。

- ② あいさつや言葉遣いを大切に

あいさつは、子どもの規範意識形成の第一歩です。

「おはよう」、「ありがとう」、「いただきます」、「ごめんなさい」等を、保護者が子どもと一緒にきちんとして使しましょう。

普段から使っているのですが、意識的に声を大きくしたり、使う場面を広げたりしていくのもいいでしょう。

また、言葉遣いも大人の影響を受けやすいものです。

相手、時、場合などを考えて使しましょう。

親しい間柄でなければ、丁寧な言葉で話すのが基本です。

また、特に親しい間柄であっても、場合によっては丁寧な言葉遣いが必要なことも手本として示しましょう。

「教育力向上福岡県民運動  
ホームページ」より抜粋

## = ナース・レポート =

【急病のとき ⇒⇒⇒ #8000】

朝夕の冷え込みが厳しくなってきました。

1日のうちの寒暖の差が激しいと、体調を崩しやすくなります。

特に、小さな子どもの体調は、突然、悪化することがあります。

救急外来に受診すべきか、診療時間まで様子を見て大丈夫なのか、判断に迷うこともあるでしょう。

そんなとき、電話で相談できる窓口があります。

厚生労働省が各都道府県に設置している電話相談で、子どもの状態を伝えれば、無料で経験豊かな看護師(必要に応じて小児科医)のアドバイスを受けられます。

電話で「#8000」をプッシュすると、最寄りの窓口につながります。

受付時間は各都道府県によって異なりますが、福岡県は

- 平日 : 19時～翌朝7時
- 土曜 : 12時～翌朝7時
- 日祝 : 7時～翌朝7時

となっています。

# こどもようす

たんぽぽぐみ  
0才児



感情や表現が豊かになる1才2カ月から1才半頃。まさしく今現在の0才児クラスのお友だちです。感情も豊かになり、思いも強くなったみんなはお友だちとの係わりもたくさん増えてきました。  
楽しいことを共にして共感を得たり、「自分の思いとは違う」と戸惑いを感じてみたり、小さいながらも様々なやり取りが行われています。場所の取り合い、玩具の取り合いは激しさが増してきました。まだまだ言葉で何かを伝えようとするのは難しく「いやなのに」と、もどかしい気持ちから叩いてみたり、噛みついてみることも度々見られます。成長の一途として捉えられ共に関わりが痛いことや悲しい思いをしていることも伝えていきます。家庭と園で同じように伝え、人との関わりをより楽しいものにしていきましょう。

たんぽぽぐみ  
1才児



先月は、運動会の練習に参加するため、公園の芝生まで出かけました。お友だちや保育者と手を繋いで歩いていきます。子どもたち自ら手を繋ごうとお友だちに手を差し出して繋いだり、しっかり相手の手を繋いであるいたり、手を繋いで歩くこともとても上手です。途中で興味のあるものを見つけると手を放してしまったり、違う方向に歩いて行こうとしてしまったりすることもありましたが、「こっちだよ」と声をかけると顔付いて保育者の方へ歩いてきてくれました。芝生での運動会での練習では、笑顔で踊ったり、足を屈伸させリズムを取ったり、手をグーにして、頭に当ててミッキーの真似をしたりと、その子なりに楽しみながら過ごしています。本番はいつもと違う雰囲気緊張してしまっただけの子もいると思いますが、可愛い姿を見てもらえたことだと思います。

すみれぐみ  
2才児



入園、進級から半年がたちました。この半年間、話をきくことや椅子の座り方など生活の中で、基本となることを重点に力を入れ取り組んでいます。給食のときのマナーなど繰り返し伝えることで、少しずつその場に合った行動ができるようになってきましたが、継続ができず、元気いっぱいの子どもたちは、楽しむときと静かにするときの区別がなかなか難しいようです。以前にもお伝えしましたが、「話をきく」ということは活動においてとても大切なことで、様々なことに繋がっています。子どもたちが、しっかりと話を聞いてもらうことで、話を聞く大切さや喜びを感じられるよう、まずは大人が見本となり、しっかりと子どもの顔を見て話を聞くこと、することが大切です。11月は散歩など園外活動も予定しています。話をきちんと聞き、安全に楽しく活動できることを願っています。

ちゅうりっぷぐみ  
3才児



先日は温かい応援をありがとうございました。幼児クラスの仲間入りをして初めての運動会。10月からはクラス活動に加えて3学年合同での全体練習が始まり体力、精神力を要しました。「みんなですると楽しいね!」の気持ちと「ママやパパに観に来てほしい!」というワクワク感が原動力となり、紅白並び、行進、駆け足、準備体操、体育教室、かけっこなど小さな体でたくさん頑張りました。遊戯「バルーン」では、気持ちを1つにみんなで楽しむものだという事を伝え続けました。成功を喜び合い、時に失敗を振り返るなかで次第に気持ちがまとまり始め「早く見てほしいな」「運動会楽しみね!」という声が聞かれるようになった事は嬉しい変化でした。さて、本番ではどのような姿だったでしょうか。「楽しかった!」と心いっぱい感じてくれたら嬉しいです。

ばらぐみ  
4才児



運動会の全体での練習を重ねて、他のクラスを見たり自分たちを見てもうことで意識も高まる子どもたち。遊戯では自分たちで立ち位置を教え合い協力して円を作ったり、かけっこでは途中で転んでもすぐに立ち上がり最後まで懸命に走る姿や、負けても「次はがんばる」とやる気を見せ、相手の子も「俺も頑張る」と競い合う気持ちを高めていて心の成長を感じました。お家の人が来てくれると楽しみにがんばっていました。当日は多くの温かい応援をありがとうございました。戸外では興味津々で虫探しをしています。秋の自然をみつけたら雲梯やジャングルジムなどに挑戦したり、ルールのある集団での遊びを楽しみながら友だちとの関わりを深めていきます。またこれから寒くなってきますので体調管理や衣服の調整を意識できるよう進めていきます。

ひまわりぐみ  
5才児



運動会の練習は子ども同士のトラブルが起きたり、集中できなかったりしてスムーズに練習を進めることができず、「心を一つにしていこう」という目標になかなか近づくことができませんでした。しかし、最後の練習の日には初めて全員そろって練習することができて、気持ちが引き締められ、最後まで一生懸命頑張ることができました。ひまわり組に進級して半年が過ぎましたが、話を聞く時の態度が見につかず、話をしている相手を見て最後まで集中して聞くことが難しいです。あと5カ月後には卒園し、小学校への就学も控えていますので、話を聞く態度をしっかり身に付けていきたいと考えます。これから寒くなりますが、子どもたちの好きなドッジボールや鬼ごっこなどの集団遊びでたくさん動かし、体を温めながら薄着で健康、安全に気を付けながら過ごしていきます。

